

競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は2022年度日本陸上競技連盟競技規則、日本マスターズ陸上競技連合競技規則および本大会申し合わせ事項により行う。

2022年1月1日に改正されたWA競技規則TR5と、新たな「競技用靴に関する規定」に基づき、靴底の厚さのチェックは実施しない。ただし、審判長はいつでもシューズチェックする権限を持ち、参加者はその指示に従わなければならない。競技後シューズの違反が認められたときは「失格扱い」となり、記録が取り消される場合がある。(スパイクピンのチェックは一次招集時に行う。)

靴底の厚さに関する規定(TR5.13.3)表

種目	靴底最大の厚さ TR5、TR5.13.3	要件・備考
フィールド競技(除:三段跳)	20mm	投てき種目と三段跳を除く跳躍種目に適用する。 全フィールド種目で、靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
三段跳	25mm	靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
トラック種目 (ハードル種目を含み、800m未満の種目)	20mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。
トラック種目 (障害物競走を含み、800m以上の種目)	25mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。
競技場内で行う競歩	40mm	
道路競技(競走・競歩)	40mm	

なお、本大会はフィールド競技シューズ規則(上記)の適用を除外する。

2. 競技場について

- ① 競技者・付添等関係者の最初の入場は出場種目開始時刻の2時間前からとし、南側黄門入口のみとする。その際、選手証(リストバンド)の交付を受けること。
- ② 退場口は、エントランスホール正面のみとする。再入場する場合は、南側黄門からとし、選手証(リストバンド)を競技役員に提示すること。(注)北側黄門、南北青門は終日閉鎖とする。
- ③ 無観客競技会として開催するので、外部からの2Fメインスタンド入口は開放しない。ただし、メインスタンドは選手および付添者の待機場所として使用する。サイドスタンドおよびバックスタンドへの立入・使用は禁止とする
- ④ エントランスホール附近およびメインスタンド軒下通路での場所取りをしないこと。

3. 更衣について

- ① 競技者の更衣用として、更衣室を男女別に各1室を開放する。
- ② 更衣室を利用する際は、競技場内からエントランスホールを通過して入室し、北側用器具庫側通路を経由して退出する一方通行とすること。
- ③ 更衣室内の使用は5人までとし、更衣後は直ちに退出すること。なお、マスク着用のうえ会話はしないこと。更衣した荷物を更衣室内に置かないこと。
- ④ シャワー室の使用は禁止する。

4. 練習について

- ① トラック種目の専用練習場所は設置されていないので、練習については競技役員の指示に従うこと。
- ② 投てき種目の練習は競技開始前に役員の指示に従い、投てき場内で行うこと。

5. 招集について

- ① 1次招集 招集場所：(南側黄門内側)

競技開始時刻の2時間前～1時間前までに「体調管理チェックシート」を提出し、アスリートビブス・スパイク等の確認を受けることで1次招集完了とする。

(注) 競技運営の都合上、競技者の入場は8時50分からとなるので留意すること。

2種目に出場する者は、1種目目と同時に2種目目の1次招集を受けること。

- ② 2次招集 招集場所：現地 (トラック種目：スタート地点、フィールド種目：競技場所)

	トラック	フィールド
開始時刻	20分前	40分前
完了時刻	10分前	30分前

- ③ 1次、2次招集に遅れた競技者は欠場として処理する。
- ④ 競技者は、プログラムに記載されたアスリートビブスで出場すること。変更はできない。
- ⑤ 欠場する競技者は、競技者係に事前に届け出ること。

6. 競技について

- ① トラック競技の出場者は1次招集場所でシール付き腰ナンバー標識を受け取り、右腰に貼る。
- ② 男女10000mはグループスタートで行う。
- ③ 10000mは55分、3000mは18分で次の周に入ることとはできない。
- ④ スパイクピンの長さは9mm以内とする。(走高跳とやり投は12mm)
- ⑤ 走高跳以外の跳躍種目は3回の試技とし、トップ8は行わない。
- ⑥ 走幅跳および三段跳は、メインスタンド側ピットで行う。
- ⑦ 走高跳のピットは、南側ゾーンで行う。
- ⑧ 走高跳のバーの上げ方……「別表3」参照
- ⑨ 走幅跳および三段跳の踏切位置は下表のとおりとする。

種目	男女別	踏切位置
走幅跳	男・女	1m、2m
三段跳	男子	5m、7m、9m、11m、13m
	女子	5m、7m、9m、11m

- ⑩ 砲丸投およびやり投は、北側ゾーンで行う。

⑪ 投てき競技（砲丸投およびやり投）は練習2回、試技は3回のみとし、トップ8は行わない。

7. 免責事項について

- ① 競技中に生じた事故については、応急処置の他一切の責任を負わない。
- ② 新型コロナウイルス感染症の感染状況により急遽、競技会の中止や種目等が変更になる場合がある。
- ③ 競技会に関わる全ての人の感染に対するいかなる責任も負わない。

8. その他

- ① トラック競技でフィニッシュした競技者は本部前を通らないこと。
- ② 記録は、WEB ページ(大阪マスターズホームページ)で確認すること。記録ボードは設置しない。
- ③ 声を出しての応援は禁止する。
- ④ すべての競技者は、競技中もしくは試技中以外はマスク着用を徹底し、競技終了後に手洗い・消毒を行うこと。
- ⑤ 横断幕、のぼりの設置は禁止する。
- ⑥ ごみ箱は設置していないため、ごみ等は必ず持ち帰ること。
- ⑦ アスリートビブスがない場合、番号布を販売（1枚100円）するので、各自で作成すること。
- ⑧ スタートリスト記載もれや訂正は大会本部まで申し出ること。
- ⑨ 盗難が多発しているため貴重品は各自で保管するなど持ち物の管理には注意すること。

<別表 1> ハードル競技の種目別基準

(注) 今大会の競技種目対象分のみ掲載

		種目	クラス	高さ	台数	1台目まで	間隔	最終まで
男	ロング	400mH	M25~M45	0.914m	10	45.00m	35.00m	40.00m
		400mH	M50~M55	0.840m	10	45.00m	35.00m	40.00m
		300mH	M60~M65	0.762m	7	50.00m	35.00m	40.00m
女子	ロング	400mH	W25~W35	0.762m	10	45.00m	35.00m	40.00m
		300mH	W50~W55	0.762m	7	50.00m	35.00m	40.00m

<別表 2> 投てき用具の最小重量基準

		クラス	砲丸・ハンマー	円盤	やり	重量
男子	M-24~M45	7.260 kg	2.0 kg	800g	15.88 kg	
	M50~M55	6.0 kg	1.5 kg	700g	11.34 kg	
	M60~M65	5.0 kg	1.0 kg	600g	9.08 kg	
	M70~M75	4.0 kg	1.0 kg	500g	7.26 kg	
	M80+	3.0 kg	1.0 kg	400g	5.45 kg	
女子	W-24~W45	4.0 kg	1.0 kg	600g	9.08 kg	
	W50~W55	3.0 kg	1.0 kg	500g	7.26 kg	
	W60~W70	3.0 kg	1.0 kg	500g	5.45 kg	
	W75	2.0 kg	0.75 kg	400g	4.00 kg	
	W80+	2.0 kg	0.75 kg	400g	4.00 kg	

<別表 3> 走高跳のバーの上げ方基準 (全日本マスターズ選手権の場合の基準)

性別	クラス	バーの高さ		
		練習	走高跳バーの上げ幅	
男子	M-24~M30	1.35m	1.40m	1.45m
	M35	1.35m	1.40m	1.45m
	M40	1.25m	1.30m	1.35m
	M45	1.25m	1.30m	1.35m
	M50	1.20m	1.25m	1.30m
	M55	1.10m	1.15m	1.20m
	M60	1.00m	1.05m	1.10m
	M65	1.00m	1.05m	1.10m
	M70	0.95m	1.00m	1.05m
	M75	0.95m	1.00m	1.05m
M80~	0.95m	1.00m	1.05m	
女子	W-24~W25	1.20m	1.25m	1.30m
	W30	1.20m	1.25m	1.30m
	W35	1.10m	1.15m	1.20m
	W40	0.95m	1.00m	1.05m
	W45	0.85m	0.90m	0.95m
	W50	0.85m	0.90m	0.95m
	W55	0.80m	0.85m	0.90m
	W60	0.80m	0.85m	0.90m
	W65	0.75m	0.80m	0.85m
	W70	0.75m	0.80m	0.85m
	W75	0.75m	0.80m	0.85m
	W80~	0.75m	0.80m	0.85m

以後 5 cm
刻み

以後 3 cm
刻み